雨　季（二）

つげ忠男

凄え雨なんだ
ちょっとした
台風並みだよ
おかげで今ん
とこ五六亭の客は
松っつぁん一人って
とこだ…………

あ〜あ
気が伏さ
っちゃう
ねぇ……
あれ〱
なんてこったィ
今夜は……
何んとか
ならないのかい
……チョットオ
……
俺にそう
言ったところで
はじまらねぇ
やな……

こっちとらだって、さっきから、あんたのため息ばかり聞いてんだ、ヤンなるぜ……

いいんだよ……帰っちまったって……

はンあれだァ……
まったく……

ガラッ
へえ？

凄え雨でやんの……野郎来たかい？
セイジがよ
ここんとこ見えないねえ……どうすんの、飲んでくのかい？

野郎が来てもよ
俺が捜してたってこたぁ
黙っててくれよな
………
ズラかっちゃうからよ

とっ捕えたら、野郎
カタワにしてやんだか
らよう……じゃあな

ウス馬鹿
野郎、………
また
えらく
意気がってた
ねえ

チンピラの
くせしあが
ってさ………

性質悪くなった
ねえ……今日びの
遊び人は………

フン
変ありやしないよ
昔っから……
そうじゃあねえって……
ああ言ったもんじゃねえよ……

あんチキショッ……
思い出しちゃうねえ……

誰だい？
いい人(しと)かい？

ばかだねえ……
……………
……………
ピシャッ
アッ
しくじったよ
こりゃあ……
あいつの事だね

お恵ちゃんの
彼氏だった
…………
いけねえや……
ありゃあ、根っから
の悪だった……

あの娘、どう
して惚れ
ちゃった
んだろ
あんな
与太に
さ………

あんな与太だから
惚れたんだろ……
なんてったかねえ
あの男……勝新
太郎にちょっ
と似てた……

ガラ
俺達ゃな
ご法度の裏街道を
歩く稼業なんだぞ
言わばぁ、天下の
嫌われもんだぁ…

イヨッ
おいで
なすっ
た……
なんだい
…………
馬鹿〳〵
しい……

いきなりごあいさつですね雨ン中やって来たってのに………
頼みゃしません………

駄目なんだよシノさんなんだかやけに気むずかしいんだ今夜は
けっこう………

たとえけとばされたって通いますよ………
惚れてんだここのママさんに………
せいぜい通ってもうけさせておくれ……

あれえひどいねミもフタもありゃしない………

だろう………
ひでえ目に遭ってんだ俺も………

ところで
松っつあん
この頃頭りょう
見えないねえ

それがね
情ねえっての
…………
梅雨時なっと
からっきし意久
地なくしちゃって

若え時分
ハリから落ちて
腰打ってね、それ
が痛むんだと
…………
もう、いい
かげんの年
なんでしょ？
あの人も

ここんとこ
ちょっとした話にも
泣きが入える様に
なっちまって………

何んてん
だかねえ…
もう………

湿っぽいねえ……
ぱっと行こうよ……
さっき勝新の話、面白そうだったじゃないの

そいつがねまるっきり、いけねえときてる……

よしとくれ……

ハハア…そうかフーテンのお恵ちゃんか……
………

エートこの店から消えちまって、三年になるかい？そろ〳〵
もう四年に入ってます……
なるかねえ……そんなに……
あたしの事お母さんて呼んでねえ……で少し足りなかっただけに余計可哀想な気になっちゃって……
どう言う素性の娘か知らないけど気立ては良かったねえ……
あたしにさえ言わなかったもの………
フーテンのお恵ってだけで………

あの与太と、そこん
とこの露地で
よく、こそこそ
やってたっけ
…………

そうなんだよ
店へ顔出しちゃ、
呼んで金せびって
たんだよ………
為んなんないからって
言って聞かせたんだ・
けど…………

駄目なんだねえ
…………女って……

あの事があって
二、三日目かに、何処かへ
行っちゃったんだけど……
あんなに明るかった娘が、
看板の後、店ん中でぼんや
りしてたものねえ
……あん時、訳を
聞いてみるんだった……

あたしゃよく知らな
いんだけど
どうだったの？

聞き
たい？

よしたが良い
よ………
良い話じゃ
ねんだから………

ザ

いいよ……
聞かしてやるよ
……男なんて
みんなろくで
なしばかりなん
だから………

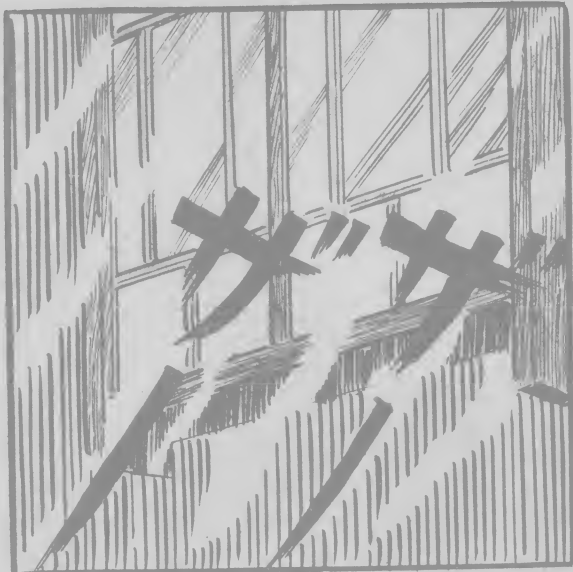
ほれ見ね
言わねえ
こっちゃねえ
…………

後で別の与太に
聞いた話だけど
ね………
あいつの
アパートでお恵ちゃ
んひどい目に遭わさ
れちゃったんだよ

あの日雨でね
お店も休みで
お恵ちゃん、あいつ
に呼ばれてたんだ
ねえ………きっと

そう言えば
あの日、浮き浮きして
たんだよ………

何処へ？
………って
聞いたら

いいとこ
！
………って
それだけ
言って出てったん
だけど………

ザザ
何すんだい助平！
変な事すっと健ちゃんに言うよ！
バカヤロ奴は承知してんだよ………

なにさ
嘘つき！

おめでたいよ
おめえは……

いいよ……くれてやらあ………

どっちからだい……さあやってみろ………

どうしたんだよお………

もう
やめにしよ
……ママさん

…………
かなわねえ

どこへ行っちゃったんだろ
…………
あれっきり……

あれ
?

かみなりじゃねえのか
?

ザー
…………

ザー
………

やだねえ
……人間なんて
……

……
なんてのか
……こう
……

そう言って松っつあんはグイと猪口の酒を流しこむのだが……

44.7.28 完